

会報

Rotary International District 2820
下館ロータリークラブ
 SHIMODATE ROTARY CLUB WEEKLY REPORT

- 例会日 毎週水曜日 PM12:30 ダイヤモンドホール
- 事務所 ダイヤモンドホール (筑西市玉戸 1053-4 0296-28-8511)
- ホームページ <http://www.shimodate-rc.gr.jp/>
- 会長 加藤 昌美 ■ 副会長 大林 稔 ■ 幹事 渡辺 進
- 会報委員会 委員長 司代 隆之 副委員長 中丸 健 委員 斉藤 寛之



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

2011-2012 RI 会長 カルヤン・バネルジー

今週のプログラム

2月1日 (水) PM12:30～

- 祝い事

次週のプログラム

2月8日 (水) PM12:30～13:30

- 会員卓話: 清水隆男会員

お客様



茨城県議会議員

田所 嘉徳 氏

会長挨拶

加藤 昌美 会長

幹事報告

渡辺 進 幹事

幹事報告

- 水戸 RC60 周年記念例会の案内受理
- しもだて紫水 RC より 2/6 「鮭の稚魚放流」の案内受理
- 交際交流連絡協議会より、国際交流ひろば出席案内受理
- 2/18 第5分区 I・M 開催案内を受理
- 笠間 RC より移動例会案内受理
- 東京ヘレンケラー協会より、愛の光通信受理
- 水戸および水戸南 RC より、会報受理

皆さんこんにちは。大寒も過ぎまして今が一番寒い時期に入ってきました。各地でインフルエンザが大分流行しているようですので、充分御注意下さい。

本日のお客様をご紹介申し上げます。本日の卓話をお願いしてございます県議会議員の田所嘉徳様でございます。先生には公私共にご多用中の所お越し戴きまして誠に有難うございます。本日は宜しくお願い致します。

さて1月はロータリー理解推進月間となっています。ロータリーの友1月号では「ロータリーについて考えよう」との事で、創始者ポール・ハリスや日本ロータリーの父と呼ばれる米山梅吉翁についての記事、またロータリーの今後の活動の在り方まで詳細に論じられております。興味のある部分だけで結構ですので目を通して見て下さい。本来ロータリー理解推進月間とはこうした雑誌等を通してロータリーについて知識と理念を一層深めてもらい、同時にロータリアン以外の一般市民にもロータリーの事を良く知ってもらう為のプログラムを実施する月間となっています。しかしロータリーに精通していく事はなかなか大変です。私は与えられた委員会の役割・知識だけは一つ一つ覚えていく事が最も大切な事なのかなと考えております。まずは肩の凝らない楽しい例会にしたいですね。どのようにしたら良いか皆さんも考えて提案して下さい。

今日はここに下館ロータリークラブの原点であります R I 加盟承認の認証状を持って来ました。現況報告書にも記載されていますが、下館ロータリークラブは昭和 35 年 (1960 年) 5 月 25 日に設立され 6 月 18 日に認証されております。初めてご覧になる方もあろうかと思えます。長い間井狩会員宅で大切に保管されておりましたが、この度井狩会員の希望もありましたので浜野会員とお伺いしお預かりして来ました。今後はダイヤモンドホール受付カウンター右側の壁に掲額させて戴きます。まさに下館ロータリークラブの歴史です。大切にしていきたいと思います。井狩さん、本当に長い間有難うございました。

外部卓話

茨城県議会議員 田所嘉徳氏



「地震・津波は最後通牒もなく突然襲来するのであるから国家を脅かす敵としてこれほど恐ろしい敵はない」とは「天災は忘れた頃にやってくる」で有名な寺田寅彦の言葉ですが、まさに昨年の東日本大震災は未曾有の被害を生じさせる恐るべきものでした。

本県全体の損害は 2.5 兆円とも言われる甚大なもので、道路や橋、家屋など広範に被害が及び、復旧には多くの財源と労力を要します。それに止まらず原発事故に起因する被害は現在も続いており、復興への道のりは長く難しいものです。

国においては 3 次に亘る補正予算（合計 18 兆円以上）を組んで復興を図ろうとしておりますが、これは 11.6 兆円もの復興債という借金により調達するもので、順調に復興が実現しなければ国民は借金だけを負うことになり、大変な時代を招来することになります。発災前の状態に復旧すればよいというものではなく、経済の発展につながるようにしなければなりません。

また、自然災害はいつ起きるとも知れない人知の及ばないものであることから、あらゆる想定を踏まえたとしかりとした防災対策が必要です。前出の寺田寅彦は「日本のような特殊な天然の散を四面に控えた国では、陸軍海軍の他にもう一つ科学的国防の常備軍を設け、日常の研究と訓練によって非常時に備えるのが当然ではないか」と言っております。自然災害の猛威を考えれば重要な指摘です。

茨城県でも今般の震災・原発事故を受けて防災計画の見直しを行おうとしておりますが、震災の教訓を無駄にしないよう実効性のある防災計画を策定しなければなりません。

原発事故に起因する放射性物質の拡散は、これまでに経験したことのない難問を突きつけ今なお進行中です。農林水産物ではいまだに出荷制限が継続してものもあり、北海道に次ぐ農業産出額を誇る豊かな茨城県の農林水産物に対する信頼が損なわれています。何の責任もない真面目な農林漁業者に被害が及ばないよう、防止策を講じなければなりません。

本県の農林水産物は、一部の品目で出荷制限や自粛がされていますが、それ以外の多くの品目は定期的な検査により、安全性が確認されています。県では、これまでもこうした検査結果の公表を行ってきましたが、今後とも消費者の信頼を取り戻すことに重点を置く必要があります。

また、商業や観光関連でもいわゆる風評被害から客足が戻らず、大変厳しい経営状況が続いております。

風評被害を防止しなければ、農林水産業や商工業の安定的経営は確保できないことから、本県産品の安全性や、本県の魅力が広く理解されるように、十分な調査と適切な情報の公表を行うとともに、行政施策として効果的なキャンペーンを実施する必要があります。その推進に積極的に取り組みます。

原発から離れていれば放射性物質による影響を受けにくいはずですが、現実には東京や本県県南地域等の遠く離れた所でも、高い濃度の放射性物質が検出されております。放射性物質の拡散はその時の気象状況等で大きく変化し、予測できないことから不安が募っているのです。

人に有害な物質でもその多くは自然界で分解したり、毒性が消滅したりしますが、放射性物質の放射線を出す能力（放射能）は高温で熱したり消毒をしても、一定の減衰期間を経なければ消滅することはなく、濃縮による更なる環境汚染の問題が生じます。

大気中の放射線量が低い地域でも、排水溝等で新たなホットスポットが次々と見つかっております。これらは、地表を流れた放射性物質を含む雨水が - 力所に集中することによって濃縮されたものです。また、放射性物質を含んだ瓦礫やゴミ等を焼却した後の焼却灰にも高濃度の放射性物質が検出されています。これらをどのように取り除き、膨大な廃棄物の処分をどうするか差し迫った問題となっております。

まずは、放射性物質の除去、すなわち除染を行うことが必要ですが、特に子どもたちの健康被害を心配する親御さんたちの心情を察すれば、できるだけ早期に実施しなければなりません。国は除染の地域指定を受けるかどうかは市町村の希望によるとしていますが、本来であれば国が主導的に責任をもって行うべきものであり本末転倒です。地域指定を受けない市町村に対しても、あるいは区域外であっても除染に要する経費は国が負担すべきです。

既に、不安を募らせた市町村が独自に除染の目安を設定し、PTA 等の協力を得て自主的に除染活動を実施しているのが実情です。除染は迅速に行わなければならないのにもかかわらず、国の対応が後追いになっていることは大きな問題です。

県民の不安に応える健康調査についても、厚生労働大臣が来県の際、「どういう形でしっかりできるか県や市と相談してできるように努力していきたい」と発言したにもかかわらず、何の進展も見せないことは、まさに無責任と言わざるを得ません。未曾有の大震災に遭遇して、「頑張ろう」という言葉の真の意味を再認識すべきです。甚大な被害からの復興を果たすために巨額の財源を要しますが、我が国は産油国のように天然資源を売って国家財政を賄うことができる国ではなく、もちろん打ち出の小槌 - があろうはずもありません。結局、国民が一生懸命に頑張り、総力をあげて支えなければならないのです。

今こそ、政治はいかに国民の持てる力を発揮できるようにするかを考えなければなりません。社会保障制度の充実や地方におけるインフラの整備、経済・雇用対策の実施が急務で、頑張る人が報われる社会を構築しなければなりません。

しかし、現在の政治を見ると、手当や補償などの形で何らかの給付をしてくれるのが良い政治行政であるとばかりに、歓心を買うだけの政策で国民を翻弄しているのではないのでしょうか。何の努力も払わないのに利益を得られるというのでは、一生懸命に働くインセンティブが生まれなければいかか、借金をしてバラまき政策を行うこと自体が負担の先送りに他ならず、亡国の政策と言わざるを得ません。

生活者の視点に立った、みんなが頑張れる社会づくりを目指さなければなりません。

自然は生命を育み豊かな恵みを与えてくれますが、時に抗いようがない厳しい側面を見せます。いかに文明が発達しようとも、計り知れない自然の力に畏敬の念を抱き、謙虚に人々が助け合う共助の社会づくりを忘れてはならないと思います。

今般の震災では国内外から多くの支援の手が差し伸べられました。自主的な募金活動や、ボランティアに参加する多くの人々の援助が、突然の事態で行政だけでは対応しきれない被災地において大きな力となりました。

加えて、以前に支援をした相手方からの応援も心強いものでした。「情けは人の為ならず」とは先人の含蓄に富んだ言葉ですが、相互扶助の社会の原点を表現していると思います。

社会システムとしても、全てのサービスを行政に頼るのではなく、多くの市民セクターが活躍し、役割を分担する社会を目指すべきです。それは行政機構のスリム化にもつながり、本当に公の援助が必要なところに力を注ぐことができるようになるのです。その意味でロータリークラブの活動には大きな意味があり、皆さまの更なるご活躍を願っています。

- 新井 和雄さん 自民党衆議院茨城1区田所支部長の来訪を記念して。
- 早瀬 浩一さん 県議会議員田所様ようこそ御来訪いただきました。卓話よろしくお祈りします。
- 司代 隆之さん 中丸健さんお元気です。田所嘉徳県議卓話よろしくお祈りします。
- 中里 泰久さん 田所議員さんようこそ！
- 小嶋勝五郎さん 田所議員の卓話を記念して。
- 溝口 明洋さん 田所様ようこそおいで下さいました。卓話よろしくお祈り致します。又1月9日の募金活動では皆様にご協力いただきまして、6万円義援金を送ることができました。ありがとうございました。
- 根岸 隆男さん 田所議員さんお忙しいところありがとうございます。健康には気をつけてがんばって下さい。卓話たのしみです。
- 正根寺幸雄さん 田所先生ようこそおいで下さいました。卓話楽しみにしています。
- 永井 啓一さん 田所議員の卓話楽しみにしております。よろしくお願いいたします。
- 佐藤 昭さん 田所県議さんの話をたのしみにしてました。
- 小島 ゆりさん 田所議員さん本日は卓話よろしくお祈りします。
- 神山 芳子さん 田所先生ようこそおいで下さいました。卓話楽しみにしていました。
- 清水 隆男さん 田所県議、卓話よろしくお祈りします。
- 河添 康徳さん 1月23日に次男が誕生しました。
- 奥沢 裕二さん 今月も本業を支えてくれた従業員たち、そして家族に対し感謝し、ロータリアンとして奉仕部門に協力の意を表したい。
- 中丸 健さん 今月も本業を支えてくれた従業員たち、そして家族に対し感謝し、ロータリアンとして奉仕部門に協力の意を表したい。
- 神山 芳子さん 今月も本業を支えてくれた従業員たち、そして家族に対し感謝し、ロータリアンとして奉仕部門に協力の意を表したい。

本日の合計 44,000円 / 累計 1,042,000円

スマイルBOX

小島 ゆり 委員長

- 加藤 昌美さん 寒くなりました。風邪をひかないようご留意下さい。県議会議員田所嘉徳様ようこそお下り下さいました。
- 渡辺 進さん 田所先生卓話ありがとうございます。
- 日向野 陽さん 田所県議の卓話楽しみにしています。
- 浜野 紘嗣さん 田所議員いよいよですね。
- 大林 稔さん しもだて紫水ロータリークラブ茨城県議会議員田所嘉徳さまの卓話を楽しみにしております。
- 新井 雅勝さん 田所県議会議員さんの来訪を記念して。
- 新井 利平さん 御来訪記念して又卓話を楽しみにしています。ご苦労様です。
- 細谷 貢さん 特に今日の卓話は楽しみにしていました。
- 岩崎 靖男さん 3期9年間、茨城県収用委員の任期が大過なく満了し、昨日橋本知事より感謝状と記念品をいただきました。田所支部長さんの卓話を祝して。

出席報告

佐藤 昭 委員長

例会日	会員数	出席	欠席	病欠	免除
1/25	45	28	15	0	3

■ メークアップ

月日	メークアップ場所	氏名
1月9日	東日本大震災復興募金活動	加藤 昌美さん、大林 稔さん 浜野 紘嗣さん、早瀬 浩一さん 小林 一彦さん、溝口 明洋さん 根岸 隆男さん、諏訪 哲也さん 百目鬼博行さん、小藁 拓巳さん 奥沢 裕二さん、井狩 浩一さん 司代 隆之さん、小島 ゆりさん 斉藤 寛之さん、新井 利平さん 瀧田 昌甫さん、新井 雅勝さん 大関 幸政さん、正根寺幸雄さん 押田 浩さん、浜野 晴代さん 佐藤 昭さん、細谷 貢さん